

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	平成 26 年度第 1 回懇話会
開 催 日 時	平成 26 年 7 月 23 日（水）14：00～16：00
開 催 場 所	尾西生涯学習センター 6階 大ホール
出 席 委 員 氏 名	岩田委員、岡西委員、川島委員、佐々木委員、渋谷委員、野村委員、 服部委員、日置委員、藤浦委員、前野委員、松村委員、横井委員 計 12 名
欠 席 委 員 氏 名	瀧委員、古田委員、森委員 計 3 名
出 席 した 市 職 員	事務局 企画部長、企画部次長、企画政策課長、同副主監 1 名、同主 査 2 名、同主任 1 名、保育課課長、子育て支援課課長、子育て支援 課副主監、学校教育課指導主事、生涯学習課副主監、働く婦人の家 館長、経済振興課副主監 計 14 名
会 議 事 項	1. 市民憲章唱和 2. あいさつ 3. 議題 副会長の選出 第 2 次一宮市男女共同参画計画推進状況（25 年度実施状況報告） 第 2 次一宮市男女共同参画計画中間見直し（案）
会 議 内 容	
事務局（課長）	（資料の確認）
企画部次長	<u>市民憲章唱和</u> （市民憲章唱和）
事務局（課長）	（ICPO 通信紹介）
佐々木会長 事務局（部長）	<u>あいさつ</u>
事務局（課長）	新しく委員になられた方をご紹介します。前回 3 月 27 日開催 の懇話会以降に新しく委員になられました方は、ナンバー2、一宮市議 会 企画総務委員会委員長の横井忠史様、本日欠席でございますが、ナ ンバー5、一宮公共職業安定所所長 古田繁弘様、ナンバー7 一宮市 立大和西小学校長 前野千鶴様、ナンバー9、一宮市小中学校 P T A 連 絡協議会副会長の川島達司様、以上 4 名の方で、それぞれの就任日は 名簿欄外に記載のとおりです。よろしくお願ひします。

<p>会長</p>	<p>それでは、次第の3 議事に移らせていただきます。ここからの進行は、佐々木会長にお願いしますが、事務局からお願いがございます。</p> <p>今回、副会長の水谷委員がお辞めになりましたので、新しい副会長の選出をお諮りします。懇話会設置要綱第4条により、選出は委員の互選によることとなっておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>岡西委員</p>	<p>それでは、議題にしたがって進行をさせていただきます。</p> <p>事務局から説明がありましたように、新しい副会長の選出をお願いしたいと思います。設置要綱第4条では、委員の互選によるとなっておりますが、どんな方法で選ばせていただきましょうか。ご意見がありましたら発言願います。</p>
<p>会長</p>	<p>前副会長の水谷委員も校長先生であられたので、引き続き同じ立場の前野委員をお願いしてはどうでしょうか。</p>
<p>新副会長</p>	<p>それでは、水谷委員と同じ学校長であられる前野委員に副会長をお願いしたいと思います。前野委員は、副会長の席に移動して、一言ごあいさつをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p style="text-align: center;">< 新副会長 あいさつ ></p> <p>それでは、次の議題に入らせていただきます。議題2、3はお互いに関連しておりますので、説明は一括して事務局よりお願いします。委員の皆様からのご意見はそれぞれ承りたいと思います。では、事務局から説明願います。</p>
<p>事務局(副主監)</p>	<p style="text-align: center;">< 事務局 説明 ></p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>資料がたくさんありますので、中身を2回にわけて審議をお願いしたいと思います。今回は、事務局の説明、お配りした資料の内容に関して、わからなかった点などにつきまして、まずご質問をお願いしたいと思います。次回2回目の8月にはご意見等をいただくという順序で進めていきたいと思っています。</p> <p>まず、資料1につきまして、分かりにくい点等ご質問をいただきたいと思っています。</p>
<p>松村委員</p>	<p>資料1について、事務局より説明のあった事業となかった事業にはどういう意図があるのでしょうか。</p>

事務局（副主監）	現状値について増減のあった主な事業を中心にご紹介させていただきました。
松村委員	重要な部分だけをピックアップして説明いただきたいです。一番問題のあるところを抽出して要点をまとめて報告していただきたいです。目標ごとに区切って説明いただいたほうが質問しやすいかと思います。
事務局（副主監）	通常は資料1 推進状況をご説明する場合は、基本目標ごとに説明、質疑をさせていただいております。今回は、25年度の実施状況を踏まえて、中間見直しの内容に関わってまいりますし、新規施策につきましても、基本目標ごとに事業を考えたのではなく、全体をみて新たな新規事業を考えた構成となっておりますため、まとめてご説明申し上げます。
松村委員	事業番号11111の「いーぶん」という男女共同参画情報紙についてですが、「いーぶん」という言葉の意味がわかりません。お年寄りから子どもさんまで啓発すると考えていると思いますが、ネーミングがわかりにくいと思います。
事務局（副主監）	「いーぶん」の意味は2つあります。「平等」を英語でいったものと、「わたしの言い分、あなたの言い分」という意味があります。
松村委員	それは説明がないと難しいと思います。 はっきりと男女共同参画とわかるネーミングで出したほうが良いと思います。もっと意識啓発をしていくなれば、市民の方にもわかりやすい表現にしたほうが良いと思いますし、保存できるような形態にしたがよいと思います。 また、「いーぶん」の内容は、理解しにくい内容が多いと思います。例えば、「いーぶん」31号で特集されている世界からみた日本の男女共同参画ということで、ジェンダーギャップ指数がフィリピンは5位であることが信じられないです。間違っていないと思いますが、なぜ日本よりも高いのか、フィリピンがどのようなことをしているのか、その点をピックアップすべきだと思いますので、内容自体変えていただいたほうが良いと思います。
事務局（副主監）	「いーぶん」というネーミングの説明については検討させていただきたいと思いますが、ジェンダーギャップの差につきましては、内容を検討し判断した上で掲載させていただいております。

松村委員	「いーぶん」の配付場所が5か所というのは少ないのではないですか。5か所では浸透力がないと思います。
事務局（副主監）	「いーぶん」の配付場所は5か所ではありません。市の公共施設すべてに置かせていただいております。
佐々木会長	「いーぶん」に関しては、当初どういう情報紙をつくろうかというときに、市民の方もはいつていただいた上で、タイトルなど相談して決めました。市が勝手に作成したわけではないです。
松村委員	私の率直な考えですが、ネーミングは重要な要素です。「いーぶん」という言葉は、学識者の方はわかるかと思いますが、子どもからお年寄りまでどれくらい知っているのでしょうか。もっとわかりやすく、ストレートな名前にしたほうがよいと思います。
佐々木会長	一度編集会議等で議論していただいたらどうでしょうか。
事務局（副主監）	承知いたしました。
岩田委員	資料1 44ページの事業番号52131ですが、昨今、人手不足といったなかで育児・介護の問題がありますが、説明を聞きますと育児の面に関しては努力していただいて、充実してきていると思います。高齢者の活動も増えているかと思っていましたが、今回の説明では会員数・仕事の依頼数が減少してきているということですが、シルバー人材センターの拡充・強化の内容と減少したことにはどんな要因があるのかお考えを教えてください。
事務局（副主監）	シルバー人材センターの事業につきましては、高齢者の方に会員となっただき、その方がお持ちの技能を發揮していただいています。高齢者数自体は伸びていますが、そういった技能をもった人材が少なくなっていることと、最近景気がよくなってきて、民間の会社に依頼されシルバー人材センターへの依頼は少なくなっていることが現状として考えられます。
松村委員	女性の活躍についての統計資料の新聞記事がありましたが、そのような統計資料が市としてありますか。他県との比較をして目標値等の設定をしていく必要があると思います。

事務局（副主監）	手元に新聞記事がなくどういった統計資料かわかりませんので、お答えできかねます。
佐々木会長	資料1についてのご質問がないようですので、資料2について不明な点がありましたらお願いします。
松村委員	事業所向け出前講座について、もっと積極的に事業所に働きかけていく必要があると思います。積極的に働きかけるほうが浸透が早いと思います。
事務局（副主監）	<p>事業所向け出前講座につきましては、一昨年からファミリーフレンドリー企業に登録している、ある一定従業員数の事業所に、直接パンフレットとチラシを送付して実績も上がってきています。事業所のほかに、高校からも高校生向けの講座の依頼もありました。</p> <p>今後は事業所とは別に、年代別にわけて男女共同参画の出前講座も行って、地域などへ積極的に周知していきたいと考えています。</p>
日置委員	資料2 16ページについて、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についての朱書きの本文の内容で、「60歳以上を除いた年代すべてにおいて反対が賛成を上回る」とありますが、20歳代女性は、反対より賛成が上回っていると思いますが、いかがでしょうか。
事務局（課長）	おっしゃるとおりです。
日置委員	<p>そうであれば、記載部分を訂正していただきたいと思います。</p> <p>全国調査でも、昨年度、賛成が反対を上回って、逆転してしまいました。全国調査では調査が始まって以来ずっと、こういう考え方は古いという考えの方が上回っていたんですが、それが逆転して、その理由の一番大きいところが20歳代男女、特に20歳代女性なんです。今までの固定的な性別役割分担でいいという考えに変化しています。それが一宮市でのアンケート調査でも出ています。このことについて書き込んでいただきたいです。</p> <p>特に20歳代は、伝統的な考え方に全面的に賛成しているわけではなく、いわゆる現状、努力してもやっぱり女はここまでだよという一種の諦めから、専業主婦を選ぶんです。これから20歳代というのは、国や地域を背負っていく世代ですので、この世代にこういう意識が広がるというのは問題ですから、そこを市としてなんとかしなきゃいけないと思います。20歳代の若い男女に対してどういった働きかけをしていくか、それが市の施策に出てくるといいと思います。</p>

事務局（課長）	<p>施策については検討してまいりたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p> <p>分析結果については、必要な部分を修正していきたいと思います。</p>
渋谷委員	<p>資料2 19ページ、男女混合名簿について、「学年によって異なる」という名簿の状況がわからないので、男女混合名簿に匹敵するような考え方なのか教えてください。</p>
学校教育課	<p>「学年によって異なる」というのは、ある学年だと女子が先で、男子が後、また別の学年では男子が先で、女子が後というような形の学校が多くなっている状況です。</p>
渋谷委員	<p>男女混合名簿を使用する学校が平成17年と比べると平成25年は半数になっていますが、なにか不都合があって半分になってしまったのでしょうか。</p>
学校教育課	<p>半数になった理由までは把握ができていません。</p>
渋谷委員	<p>多治見市では全小中学校で男女混合名簿となっています。先ほどの20歳代の方々の問題にもかかわってくると思います。資料1、5ページでは、「校長会等で名簿への配慮をしました」とありますので、個人的には、できれば男女混合名簿を進めていただければと思います。</p>
学校教育課	<p>検討させていただきます。</p>
事務局（課長）	<p>内容については分析結果の中で把握できていないので、確認をして次回お話できればさせていただきます。</p>
前野委員	<p>男女混合名簿は基本的に使用しております。ただ、保健関係などは混合名簿ですと使いにくいということで、併用しています。</p> <p>混合名簿ではあたりまえのチェックはできますが、もともとの性差による場合は間違いがおきやすいですし、名前での男女の判断が難しいことがあって、色分けや書体を変えて混合名簿を使っています。誤りがあると大変なことになりますので、学年によって異なるような状況になっています。</p>
松村委員	<p>資料2 21ページについて、女性管理職の推移のグラフについて、企画政策課とありますが、企画政策課の数値ですか。</p>

事務局（副主監）	<p>こちらは市役所全体の数値となります。</p>
松村委員	<p>人事部の推移が出ていたと思いますが、先頭に立つ人事部の数値を上げないといけないのではないのでしょうか。</p> <p>一般の事業所等に浸透していく、先頭に立つのは、市であり市役所職員だと思います。今の数値では横ばいですので、もう少し努力していただきたいと思います。</p>
事務局（課長）	<p>人事部の推移というのは、おそらく市職員における女性管理職の割合のお話だと思います。基本的には、企画政策課とか人事課の数値ではなく、市役所全体での話になります。徐々に上昇しておりますが、一層の努力をしてまいりたいと思います。</p>
松村委員	<p>市職員の方の勤務時間についてお聞きしたいのですが、定時で帰る職員の方が多いのか、残業する職員の方が多いのでしょうか。</p>
事務局（課長）	<p>詳しいデータはわかりませんが、かなりの職員は、定時で帰るというわけではなく、繁忙期、閑散期等がありますので、多かれ少なかれ残業をしているのが実態です。</p>
松村委員	<p>日本に比べヨーロッパでは、男女ともに家庭における時間が非常に長いです。残業をなくすことによって、お互いに協力できると思います。市職員の方が残業が多くて遅いということになると、管理職の進捗状況も大きく伸びないと思いますがいかがでしょう。</p>
事務局（課長）	<p>市では例えば水曜日にノー残業デーを実施しています。すべてが男女共同参画を裏打ちしているわけではありませんが、全体として、職員の勤務時間縮減に向けて、人事担当を中心に取り組んでいるところで、効果が少しでも発揮できればと考えております。</p>
松村委員	<p>フィンランドの例ですが、日本に比べて労働時間が短い要因として、社会福祉制度が充実している、職場と自宅が非常に近いということがあげられるそうです。参考にしてください。</p>
事務局（課長）	<p>参考にさせていただきます。ありがとうございました。</p>
佐々木会長	<p>それでは、時間も迫ってまいりましたので、本日はこれまでとさせていただきます。次回は、資料2の計画中間見直し（案）について具体的に議論を進めさせていただき、意見を受け賜わっていきたいと思</p>

事務局（課長）	<p>います。それでは、事務局へお返しします。</p> <p>長時間のご審議ありがとうございました。</p> <p>次回の懇話会についてご案内申し上げます。次回の懇話会は、8月19日（火）午後2時から、消防本部にて開催する予定です。詳しくは近日中にご案内申しあげます。</p> <p>本日は熱心なご審議をありがとうございました。</p> <p>本日はこれにて閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p><u>会議終了（16：00）</u></p>
---------	--